2025年度第2学期山梨学習センターゼミ

講師名	2025年度第2子期山采子省セノター			ゼミ概要
詳細		開催 予定日	ゼミの進め方	受講生へのメッセージ及び用意するもの
四十百	1	10800	= 1 1.2 100	文碑上へのアノピーノ及び用心するもの
村松 俊夫		10月8日 11月12日	視覚トリック鑑賞会 - 錯視芸術の世界 -	「百聞は一見に如かず」という有名なことわざがあります。「他人からあれ これ百回聞くよりも実際に自分の眼で一目見た方が確実だ」といった意味 です、木当にそれほど「眼で貝ろ(祖覚)」という行為は信用できるもので
【曜日】 第2水曜日	3	12月10日	眼で見ることの"あいまいさ"を、スライド銀子・中心	しょうか?その視覚の"不確かさ"を見ていきましょう。
【定員】 5名	4	1月14日	しく学んでいきます。 ・眼に係る錯覚である「錯視」や、その錯視をもとにした古今	700
【時間】 13:30-15:00	(3)	2月18日 (第3)	東西のアーティスティック、上してはトレッキーな「錯過芸術」作品」について、その原理や仕組み・仕掛けについて話し	│ 特段の予備知識は必要ありません。回によって作図や工作を行いますが、 │三再定規やコンバス、ハサミなとの道具類、紙などの材料は学習センターに
【会場】 会議室	6	3月4日 (第1)	合っていきたいと思います。	用意してあるものを使用します。
大山 拓次	1	10月22日	 タンパク質構造入門	 固有の機能を発揮することで、私達はようやく健康に生きることができま
(山梨大学教授)	2	11月26日	プンハノ 負情追入()	す。タンパク質は原子レベルで設計された構造を持っています。構造に基づ く機能の仕組みを知れば、生命に対する考え方が今までとは大きく変わる
【曜日】 第4水曜日	3	12月24日	地上の生物に命を吹き込んでいる様々なター質生	かもしれません。
【定員】 5名	4	1月28日	ついて学んでいただきます。前半は、講師がプロチでしょ	ナルヴの又供加強がものば、F1237 JERN プレナギリキョが、 専並加強
【時間】 10:40-12:10	(3)	2月18日 (第3)	会ったユニークな構造を持つタンパク質を紹介します。後半では、受講者の皆様それぞれが興味を持つタンパク質にフいて、構造と機能の相関を議論したいと思います。	生化学の予備知識があれば、より。 マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・
【会場】 実習室	6	3月25日	いて、悔垣と依能の伯剌を誠論したいと思います。	ればと考えています。
	1	10月9日		身の回りに残る昔の文様を、文化史研究の手法を用いて調べてみましょ
岡松 恵 (山梨大学准教授)	2	11月13日	文様に惹かれて	オの凹りに残る自の文像を、文化文研究の手法を用いて調べてみまり。 う。由来や表現など、様々な角度からじっくり調べてみることで、その文様 の持つおもしろさや魅力に改めて気づかされることでしょう。また昔の日
【曜日】 第2木曜日	3	12月11日		本人の美意識や心情に触れることができるかもしれません。
【定員】	4	1月8日	毎回、受講生の皆様に、"ご自身の惹かれた(日本の)文様"を"一つ"紹介してもらうことから、ゼミがスタートします。そ	at CD.の 又 (性 m = 他) ナ ソ 亜 ナ リ ナ サ /
【時間】 10:40-12:10	(3)	2月12日	の後皆でディスカッションを行い、そこで得たヒントを糧に、 ご自身でさらに調べ学習をしてもらいます。最終回ではまと	特段の予備知識は必要ありません。 事前学習(毎回一つ文様を探すこと)や事後学習(その文様について調べて
【会場】 実習室	6	3月10日 (第2火曜日)	めたものを披露しあいます。	まとめること)が必要となります。方法については第一回で説明します。
尾形大	1	10月1日 (第1)	15件の気須小部をきまり	「小説の面白さ」とは何でしょう?奇想天外なストーリーや魅力的な登場人
(山梨大学准教授)	2	11月12日	近代の短編小説を読む	物といった点だけが小説の「面白さ」ではありません。小説はどのように読
【曜日】 第2水曜日	3	12月10日	草隹	説の世界の鬼行きと広がりを実感することを目的とします。
【定員】 6名	4	1月14日	初回の授業時に各回で取りあげる小説を決っます。各自 2名に簡単な報告をしてもらい、そのうえでその小説につい	各回であつかう小説はこちらで印削したものを用意します。ゼミ生は必ず
【時間】 10:40-12:10	(3)	2月4日 (第1)	て各自の事前学習をもとに話し合いをおこないます。	ての小説を読み、告分なりの意見や考えを準備して授業にのぞんでください。次第に小説を読むうえでの視野が広がっていくことを実感できるよう
【会場】 実習室	6	3月26日 (第4木曜日)		に、真剣かつ楽しみながら授業を進めていきましょう。
菊地 淑人	1	10月21日	地域の歴史された知识(ナナベノ)	 身近なところにも様々な文化資源(歴史的建造物、遺跡、博物館・美術館に
(山梨大学准教授)	2	11月18日	地域の歴史文化と観光/まちづくり	所蔵された美術工芸品など)があります。その価値や魅力は何なのでしょうか。また、観光やまちづくりにはどのように役立つのでしょうか。事例を考
【曜日】 第3火曜日	3	12月16日		えながら、くらしのなかの歴史文化の役割を考えましょう。
【定員】 5名	4	1月13日 (第2)	参加者の皆さんに、毎回、興味をもった事例などを話題提供	
【時間】	(3)	2月17日	してもらい、それを踏まえて地域文化の価値、魅力とそれを 活かした観光地づくりの事例などについてディスカッション	事前の予備知識は不要です。歴史文化に馴染みのある方もない方も、地域
【会場】	6	3月24日	を行います。	の文化やまちづくりを見つめ直すきっかけになることを願っています。
会議室	(b)	<mark>(第4)</mark> 10月22日		
田中健史朗 (山梨大学准教授)	① ②	(第4) 11月26日	人の「こころ」(心理)について考える	人の「こころ」に関心をもち、その心理を掘り下げ、本質的な問題や課題が
【曜日】 第3 or 4水曜日	3	(第4) 12月17日 (第3)		何であるのかについて理解することを目指します。また,支援者として支援 する方法を獲得することを目指します。
【定員】	4	1月21日	 各回で取り上げるテーマを決め,そのテーマについて各自事	
6名 【時間】	(3)	(第3) 2月18日	前学習を行っていただきます。ゼミでは各自の事前学習を もとに討議を行います。	取り上げるテーマについて事前学習が必要です。事前学習の仕方について
10:40-12:10 【会場】 会議室	6	(第3) 3月18日 (第3)		第1回ゼミで説明します。
島山 孝司	1	10月16日	土フを利労士フ	オノ Eノ土のフ土ロナけつながとしかいナロナはつのなよべ よっかんい
(山梨大学准教授)	2	11月20日	走るを科学する 	速く、長く走れる走り方は?怪我をしない走り方は?運動力学、生理学など の観点からこれらについて考えていきます。単純な運動ですが、奥深さに 触れて34世4 か2
【曜日】 第3木曜日	3	12月18日		一触れてみませんか?
【定員】 6名	4	1月15日	前半は、走るとは何か?その正しい動きは?走りの練習方 法はといったものを紹介し、その基本的な動き作りに取り組	
【時間】	(3)	2月19日	んでいきます。実際に走るまでの運動はしません。後半は、 受講者が実際に取り組むための練習のプランニングについ	これから運動を始めたいという方から、大会で結果を出したいという方までの広い範囲を扱いたいと思います。歩き方などの身体の使い方を確認す
【会場】 実習室	6	3月26日 (第4)	て考えていきます。	る運動もしたいので、動きやすい格好での参加が望ましいです。
ベロエ		(おサ)		